

620	目を疑う め 疑う <small>うたが</small>	意外すぎるものを見て、にわかには信じられず見間違いではないかとさえ思ってしまう。
619	目もくれない め	何の興味も示さず、見向きもしない。
618	目も当てられない め 当てる <small>あ</small>	あまりにも悲惨な状態で、見るに堪えない。
617	目星を付ける め 星 <small>ぼし</small> 付ける <small>つ</small>	見当や見通しをつける。目標を決める。
616	目の前が真っ暗になる め 前 <small>まえ</small> 真っ暗 <small>まっくら</small> になる	絶望的になり、どうすればいいのかわからなくなる。
615	目の毒 め 毒 <small>どく</small>	見ると欲しくなってしまうたり、害になったりするので、見ないほうがいい物。
614	目の敵にする め 敵 <small>かたき</small> にする	誰かのことをやたらと嫌い、敵視する。
613	目の色を変える め 色 <small>いろ</small> を変える <small>か</small>	何かに怒ったり、驚いたり、熱中したりして、目つきが変わる様子。
612	目にも留まらぬ め 目にも留まらぬ	はつきりと確認することができないくらい、動きが素早い様子。
611	目に留まる め 目に留まる	いくつもあるもののなかで、特に注意をひきつける。
610	目に浮かぶ め 目に浮かぶ	目の前にはない様子や姿を、実際に見ているかのように思い浮かべることができる。
609	目に入れても痛くない め 目に入れても痛くない	子どもや孫などがかわいくてたまらない。
608	目に余る め 目に余る	物事の程度がひどすぎて、無視できない。
607	目と鼻の先 め 目と鼻の先	二つの場所の距離がとても近い様子。
606	めどが付く めどが付く	物事を実現させるための見通しがはつきりする。
605	目白押し め 目白押し	人や物がたくさん混みあつて並んだり、集中して物事がある。
604	目くじらを立てる め 目くじらを立てる	ささいなことで他人を責めること。
603	目から火が出る め 目から火が出る	頭を強くぶつけた時などに、一瞬目の前で光が飛び交うように感じる事。
602	目から鼻へ抜ける め 目から鼻へ抜ける	抜け目がなく、判断がすばやい。賢くて、利口なさま。
601	目から鱗が落ちる め 目から鱗が落ちる	あるきつかけで、それまでわからなかった物事が急に理解できるようになる。